

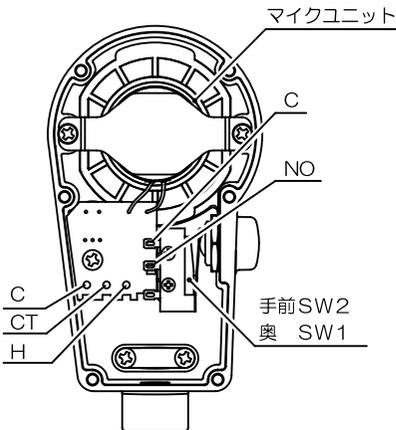


## M-360/3602

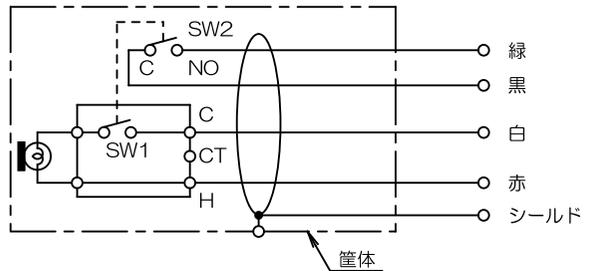
このたびは、ノボルの防水型マイクロホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

### 1. 取扱上の注意

- (1) 長時間炎天下や暖房器具などの近くで高温になるところに放置しないでください。
- (2) マイクロホンに洗浄等のためにホース等で直接水をかけるようなことはお避けてください。
- (3) マイクロホンの各部溝に水がたまらないようにしてください。浸水して故障の原因となります。
- (4) マイクロホンの近くにスピーカーがあるとハウリング（スピーカーからキーンと言う音がでる）を起こすことがあります。このときはスピーカーの向きを変えるか、アンプの音量を下げてハウリングしないようにしてください。
- (5) スイッチは止まるところまで強く押してください。  
（スイッチを2個使用しているので押し方によりタイミングが少しずれることがあります）
- (6) コード保護バックリングとコードの隙間に水が溜まらないように注意してください。次第に製品内部へと水が浸入し、故障の原因となります。
- (7) 水の中に浸したり、落させたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。



M-3602接続説明図

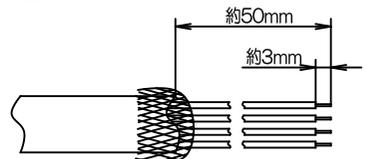


### 2. コードの取付方法（上図、図1、図2参照）

\*M-3602をご購入の場合、この項を読む必要はありません。

- (1) コードは外径6.0～7.5mmで0.5mm<sup>2</sup>の4芯シールドキャプタイヤコードをお使いください。または適切な4芯シールドケーブルをお使いください。
- (2) コードは図1のように加工してください。シールド線を筐体に接続しない場合は、シールド線がコード押さえ金具⑤に接触しないように、シールド線にビニルチューブを被せるか、シールド線を切断してください。

図1



例：4芯シールドキャプタイヤコード  
シールド線を表皮の上に折り返す。

- (3) 組立ねじ①をゆるめ、裏ふた②をケース③から取りはずし、コード押さえねじ④をゆるめてコード押さえ金具⑤を取りはずしてください。

注) マイク内部のねじ類(コード押さえ部を除く)は絶対にはずさないでください。

- (4) コード締付金具⑥とコード保護パッキング⑦をケース③から取りはずし、コードにコード締付金具⑥、コード保護パッキング⑦の順に通してください。

- (5) コードをケース③に通して、4本の芯線をM-3602接続説明図の接続例にならってはんだ付けしてください。

注) この防水マイクは非常に過酷な条件下で使用されるため、はんだ付けは十分な量で確実に付けてください。

- (6) コードのシールド線部分をコード押さえ金具⑤で押さえ、コード押さえねじ④を締め付けて固定してください。

注) コードを固定する際はコードの表皮部分が、コード押さえ金具より十分内側にかかることを確認してください。コード押さえ金具ぎりぎりに固定しますと、使用中にコードが抜ける恐れがあります。

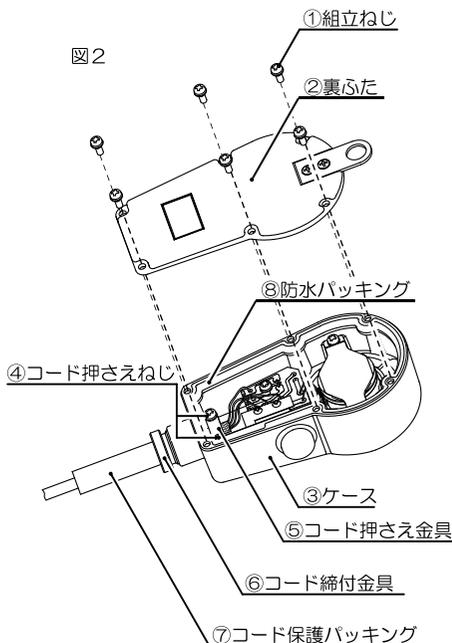
- (7) コード保護パッキング⑦をコード締付金具⑥でプライヤー等の工具を用いてケース③に固定してください。

注) 防水性を損なわないためにコード締付金具⑥は、ねじ山が見えなくなるまで締め付けてください。

- (8) はんだ付けが確実にされているか、線の短絡がないかを確認のうえ線材をはさみ込まないように注意して、裏ふた②をケース③にかぶせてください。

- (9) 取りはずした裏ふた②を取り付ける際は、防水パッキング⑧が正常な位置にあるか必ず確かめて行ってください。

組立ねじ①6本は最初は軽く締め、均等な強さで締め付けてください。不均等または不完全な閉め方をしますと、製品内部に水が浸入し故障する恐れがあります。



## ■こまったときは

技術的なお問い合わせにお応えします。

### 顧客サービスセンター

フリーダイヤル(無料電話) 0120-014-602

フリーダイヤルに接続できない場合は 072-852-7503 (通話料がかかります)

受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00

(土・日・祝日、および弊社休日を除く)

# 株式会社ノボル電機